様式第１号（第１０条関係）

２０２３年度業務実績報告書

提出日　令和 6 年 1 月 19 日

１．職名・氏名　教授・法木　左近

２．学位　医学博士（甲）、専門分野　病理学、授与機関　福井医科大学、授与年 1990 年

３．教育活動

(1)講義・演習・実験・実習
①担当科目名（単位数）　主たる配当年次等 **医学概論**（2 単位）　1 年
②内容・ねらい 内容：社会福祉士として必要な人体の構造と機能および疾病について、医学の学問体系に沿って解説した。具体的には、骨学、筋肉学、組織学、解剖学、そして病理学として炎症、循環障害、腫瘍などを分かりやすく説明した。 ねらい：社会福祉士国家試験に回答できるようになること、クライアントの病気について医学書やネットで調べたときに記載内容が理解できること、そして、社会人の医学リテラシーとしての医学知識を得ること、である。
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫 百聞は一見に如かずのとおり、視覚教材を多く取り入れた。身近な話題や映画・文学などと関連づけて説明した。また、集中力の途切れるころには、私の海外留学や海外出張（イタリアなど）の画像などを挟むことによって興味を持続させた。
①担当科目名（単位数）　主たる配当年次等 **病気・人間・社会**（2 単位）　1 年
②内容・ねらい 内容：新カリキュラムによる「生涯発達学」の読み替え科目である。また、道信先生とオムニバス形式の講義であり、前半 5 回を道信先生が担当し、後半 10 回を私が担当した。私の担当分では、先天異常と染色体異常・遺伝病、小児の発達、生活習慣病（糖尿病・悪性腫瘍）、脳卒中、認知症、神経変性疾患、老年医学、障害（生活機能分類）などの医学的な疾患知識とそれに関する社会との関係について、分かりやすく説明し、受講者にも考えてもらうような問を設けた。 ねらい：社会福祉士国家試験に回答できるようになること、クライアントの病気について医学書やネットで調べたときに記載内容が理解できること、そして、社会人の医学リテラシーとしての医学知識を得ること、である。
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫 百聞は一見に如かずのとおり、視覚教材を多く取り入れた。身近なニュースや映画・文学などと関連づけて説明した。また、デジタル授業のひとつとして、疾患の病理組織標本のバーチャルスライドを用いた実習を行い、疾患の理解を深めた。また、冬季では、積雪などの影響を考えて、ハイブリッド形式あるいは遠隔講義で対応した。
①担当科目名（単位数）　主たる配当年次等 **入門演習**（1 単位）　1 年
②内容・ねらい 内容：卒業論文を執筆するための文献の検索法や論文・レポート作成法、プレゼンテーションの技術などを説明し、各自が課題を設定しそれに対して、調べたことや考察を発表してもらい、また、論文レポートにまとめて提出してもらった。また、皆の前での発表の練習として、ビブリオバトルを開催し、各自の研究テーマについてもパワーポイントを用いて発表し、意見を述べ合った。 ねらい：今後の論文・レポート作成の基礎として、文献を検索できるようになり、それをもとにある程度まとまった文章を作成すること、および人前で発表することを目的とした。また、

多くの人と意見を出し合うことも経験してもらう。

③講義・演習・実験・実習運営上の工夫
　文献検索や論文レポートの書き方など基礎的な内容は講義形成で説明するが、それ以降は各自が実際にできるように時間に余裕も持たせた。冬季では、積雪などの影響を考えて、ハイブリッド形式あるいは遠隔講義で対応した。

①担当科目名（単位数）　主たる配当年次等
　病態生理学（2 単位）　2 年（看護学科）

②内容・ねらい
　内容：先天異常、遺伝疾患、染色体異常、多因子遺伝、壊死、変性、萎縮、蛋白質代謝障害（ネフローゼ症候群、尿毒症）、糖尿病、黄疸、循環障害および充血、うっ血、虚血、血栓、塞栓、梗塞、DIC などの用語の理解、炎症論、免疫とは、感染症、腫瘍総論など
　ねらい：看護師国家試験に回答できるようになること、病院内での患者に関する情報交換の内容が理解できるよう医学用語を正しく理解すること、患者の病気について医学書やネットで調べたときに記載内容が理解できること、そして、社会人の医学リテラシーとしての医学知識を得ること、である。

③講義・演習・実験・実習運営上の工夫
　百聞は一見に如かずのとおり、視覚教材を多く取り入れた。2020 年度はコロナのため顕微鏡実習ができなかったが、例年、1，2 回の顕微鏡実習を取り入れ、炎症細胞や腫瘍細胞を観察する。講義では、集中力の途切れるころには、私の海外留学や海外出張（イタリアなど）の画像などを挟むことによって興味を持続させた。また、冬季では、積雪などの影響を考えて、ハイブリッド形式あるいは遠隔講義で対応した。

①担当科目名（単位数）　主たる配当年次等
卒業研究（4 単位）　4 年

②内容・ねらい
　内容：教員の研究分野に関わらず学生の興味ある分野について可能な限り指導した。特に、研究テーマ、学問的な問い、先行文献の検索、研究の方法論、論文の執筆について指導した。具体的には、2 名の学生の卒業研究論文「更生保護活動の意義~担い手の変化とこれからについて~」「チャイルド・デス・レビューにおけるソーシャルワーカーの役割」を指導した。
ねらい：今後の社会にでても、論文・レポート・報告書などの作成の基礎として、文献検索・評価・構成などができ、それをもとにまとまった文章を作成すること、および人前で発表することを目的とした。

③講義・演習・実験・実習運営上の工夫
4 年生であり、就職活動も並行して行っているので、時間的な束縛は極力無くし、学生の主体にまかせ、困った点などの解決方法について指導・支援を行った。また、論文の構成や文章の校正については細かく指導した。

①担当科目名（単位数）　主たる配当年次等
　保健・福祉研究方法論（2 単位）　大学院修士課程 1 年

②内容・ねらい
　内容： 研究の意義となりたち、研究における概念、変数について、実験的研究と非実験的研究、量的研究と質的研究、文献の検索とクリティーク、統計的な方法などを教授する。
　ねらい：　研究をしていくうえでの基本的な用語や概念などの習得と、自身の研究へ活かせるようになること。

③講義・演習・実験・実習運営上の工夫
　受講生の人数も少ないので、気楽に質問ができるように質問タイムを多く設けた。学生の研究目的になるべくあった内容を心掛けた。受講生は社会人が多いので、遠隔授業で行った。
　博士課程の授業と共同で、ゲストスピーカーに福井大学特命教授の樋口先生を招いて「研究に必要な知的財産の基礎知識」を開催した。

①担当科目名（単位数）　主たる配当年次等
健康バイオマーカー演習（4 単位）　大学院博士課程１年

②内容・ねらい
内容：健康生活科学研究科として必要なバイオマーカーに関する知識のみならず、研究を主体的に実施していくための研究手法などを教授する。
ねらい：研究をしていくうえでの基本的な用語や概念などの習得と、自身の研究へ活かせるようになること。および、論文の抄読を通して研究遂行に関する方法を体得すること。

③講義・演習・実験・実習運営上の工夫
受講生の人数も少ないので、気楽に質問ができるように質問タイムを多く設けた。学生の研究目的になるべくあった内容を心掛けた。受講生は社会人が多いので、遠隔授業で行った。
修士課程の授業と共同で、ゲストスピーカーに福井大学特命教授の樋口先生を招いて「研究に必要な知的財産の基礎知識」を開催した。

(2)その他の教育活動

内容
１．看護福祉学部内の研究セミナーにおいて「民間研究助成金の獲得について」を講演した（2023.02.15）

４．研究業績

(1)研究業績の公表

①著書・監修

特になし

【0 本】

②学術論文（査読あり）

1. Exploration of sepsis assisting parameters in hospital autopsied-patients: a prospective study.
   Kunihiro Inai, Shohei Higuchi, Akihiro Shimada, Kyoko Hisada, Yukio Hida, Satomi Hatta, Fumihiro Kitano, Miyuki Uno, Haruka Matsukawa, **Sakon Noriki**, Hiromichi Iwasaki & Hironobu Naiki
   Sci Rep **13**, 10681 (2023). https://doi.org/10.1038/s41598-023-37752-3

2. 胆管膵疾患領域における医療関連死解析に寄与する介在死因データベース
   宇野美雪， 樋口翔平， 八田聡美， 木下一之， **法木左近**， 後藤伸之， 内木宏延， 稲井邦博
   医療の質・安全学会誌 **18**(1); 3-16. (2023)

【2 本】

③その他論文（査読なし）

特になし

【0 本】

④学会発表等

＊1. 美容用角質削り器を用いた白癬菌抗原キットによる踵部の白癬診断の検討
日本フットケア・足病医学会年次学術集会（奈良市）(2023.02) 法木 左近, 石田 久哉

2. 剖検例による造血器疾患の死因経過および感染症の検討
第 112 回日本病理学会総会（下関市）(2023.04)
樋口 翔平, 稲井 邦博, 宇野 美雪, 法木 左近, 大越 忠和, 岩崎 博道, 内木 宏延

3. 剖検脳 MRI を活用した病理解剖の 2 例
第 21 回オートプシーイメージング(Ai)学会学術大会（川崎市）(2023.08)
宋美紗、木村勇人、萩原章、法木左近

＊4. 横隔膜変性壊死を呈した敗血症性ショックの一例
第 34 回北陸病理集談会（福井市）(2023.10)
法木 左近、亀井 俊治、今村 好章

【4 件】

⑤その他の公表実績

特になし

【0 本】

(2)科研費等の競争的資金獲得実績
【学外】 １．科学研究費　基盤研究（B）「低侵襲ロボット支援解剖と人工知能（AI）を活用した医療関連死解析法構築」　分担研究者（令和 2 年度から令和 6 年度） 【学内】 ２．戦略的課題研究推進支援「白癬菌抗原キットのための検体採取法の検討と動物白癬の診断への応用」（令和 5 年度～令和 6 年度） ３．看護福祉学部 研究費〔KF 枠研究費〕「医学教育用解剖遺体の脳の MRI 所見と病理学的解析」（令和 5 年度）
(3)特許等取得
(4)学会活動等
１．Ai（オートプシーイメージング）学会　理事 ２．日本病理学会　学術評議員

５．地域・社会貢献活動

６．大学運営への参画

(1)補職
(2)委員会・チーム活動
１．動物実験委員会　委員（令和２年４月から） ２．衛生委員会　委員（令和２年４月から） ３．保健管理センター運営会議　委員（令和２年４月から） ４．入試　救護医（令和５年１月 15 日、２月 25 日、３月 12 日、11 月 19 日） ５．大学院博士課程設置・ワーキンググループ委員（令和３年９月から） ６．看護福祉学部３ポリシー・ワーキンググループ委員（令和５年 11 月から 12 月）
(3)学内行事への参加
１．県内高校（勝山高校）への入試説明会（令和５年７月５日）
(4)その他、自発的活動など
１．県立大学＆福井大学研究連携交流会（令和５年 11 月 21 日かつみキャンパス）